

平成30年（食と観光対策特別委員会）開催状況（経済部観光局）

開催年月日 平成30年1月11日（木）
 発言者 日本共産党 真下 紀子 委員
 報告者 観光振興監、観光局参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 天人峡等の観光振興について</p> <p>(一) 天人峡羽衣の滝遊歩道の通行止めの状況及び観光面での影響について (真下委員) 今日、天人峡等の観光振興について、伺いたいと思います。 上川管内東川町の大雪山国立公園内にある天人峡羽衣の滝は、道内で最大の落差を誇り、270メートルあるわけです。この滝の全景を間近で見ることができ、また、切り立った崖と溪谷の迫力ある景観というのは、貴重な景勝地として親しまれております。ところが、2013年5月、5年近く前になるわけですが、大雪による大規模な土砂崩れがあり、その後も被災が重なって、長期にわたって滝に続く遊歩道の閉鎖が続いてきました。私は崩落現場の調査にも行き、ホテル関係者や地元の方々からお話を伺ったところ、来訪者の減少や予約キャンセルの実態などをお聞きして、これまでも早期復旧を求めてきたわけです。 高橋知事も、2016年、2度目の被災後ですが、3定で補正予算を付ける際に、長期にわたる不通により、天人峡温泉では、客単価の下落や、昼食、日帰り入浴を目的としたバスツアーの激減など、厳しい状況が続いているという認識を示されました。それから1年以上は経過したわけですが、遊歩道の通行止めの状況と観光への影響を、どのように現時点で認識されているのか伺います。</p> <p>(二) 復旧に向けた見通しについて (真下委員) そういう状況が長期間にわたって続いていました。道は、国との調整が必要だったわけですが、その調整等も進め、2016年3定で補正予算を計上し、工事も進んでいると聞いております。時間はかかりましたが、復旧に向けた見通しがついてきたのだというふうに考えているところですが、現在、どのような状況でしょうか。</p>	<p>(観光局参事(山口)) 通行止めの状況及び観光面での影響についてですが、天人峡羽衣の滝に通ずる遊歩道は、平成25年度の土砂災害や28年度の大雨災害により、利用者の安全を確保できないことから、橋の建設や法面復旧工事を行い、通行止めとしてきたところであります。 天人峡の羽衣の滝は、道内最大の落差を誇り、迫力ある景観を有し、これまでも、多くの観光客の入り込みがあったところですが、遊歩道が長期間不通となり、昼食、日帰り入浴を目的としたバスツアーの催行が中止となったことなどから、観光入込客が災害発生前と比較して、約2割減少するなど、観光事業者をはじめ、周辺地域の皆様には、大変、厳しい状況が続いているものと認識しております。</p> <p>(観光局参事(山口)) 遊歩道の復旧についてですが、天人峡羽衣の滝に通ずる遊歩道は、平成25年の土砂災害で一部が崩落したため、迂回する橋の建設などの工事を進めてきておりましたが、28年の大雨災害で新たに工事現場に至るまでの遊歩道が被災し、工程にも大きな影響が生じたところでございます。 このため、道では、同年の補正予算によりまして、新たに被災しました遊歩道の復旧に当たるとともに、滞っておりました橋の建設工事を同時に進めた結果、昨年11月末に全ての工事が完了したことから、現地での安全確認が可能となります。本年の雪解け後に供用再開を予定してございまして、具体的な時期につきましては、道と環境省、地元東川町により調整を行う予定でございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三) 地元協議の状況について (真下委員)</p> <p>季節柄もあって、5月の被災でしたから、1番良いときが半年間なくて、今回も11月に工事が完了しているのですが、半年間積雪のために通行できないという状況、非常に厳しい環境の中で、地元では非常に頑張ってきたわけです。当時、観光局長は「工事終了までの間の観光振興を促進する観点から、関係部局や地域の観光団体と連携した取り組みを進める」と答弁しておりまして、知事も、「地元の東川町や観光事業者と連携しながら、貴重な自然環境と観光が共存できる魅力的な観光地づくりに取り組む」と答弁されておりました。しかし、実際にはなかなか難しい状況があったわけです。地域では協議会も設置し、取り組んできたということです。</p> <p>通行再開というのは多くの方が心待ちにしており、ここは地元の要望もしっかりと踏まえて、復旧後の観光振興に特段の取組が必要ではないかと私は考えているところです。協議会での議論の状況というのはどうなっているのか伺います。</p>	<p>(観光局参事(内藤))</p> <p>地元の協議会の状況についてでございますが、道をはじめ、東川町や国の関係機関、地元の観光協会で構成をいたします「天人峡地区活性化協議会」におきましては、遊歩道の崩落以降、復旧工事や観光振興策などにつきまして、協議を重ねてきたところでございます。</p> <p>こうした中、東川町や地元の観光協会では、遊歩道の供用再開に合わせまして、復興祭といったイベントを開催するなど、復旧後の観光振興に向けた検討を進めているところでございます。</p> <p>今後、道といたしましては、雄大な姿を誇る羽衣の滝をはじめとする天人峡を重要な観光資源として活かしていくため、東川町をはじめとする地元の観光関係者と連携をして、天人峡の魅力の発信や旅行会社へのツアー造成の働きかけといった、遊歩道復旧を踏まえた観光振興に取り組んでまいりたいと考えてございます。</p>
<p>(四) 今後の振興策について (真下委員)</p> <p>場所は羽衣の滝ですから、復興祭に向けて大きな期待も膨らむことだと思いますが、やはりこれまでの長期にわたる通行止めの影響というのは、極めて大きいものがあるわけです。しかしながら、自然を観光資源とする本道においては、こうした厳しい自然との共生というのがどうしても必要になってきます。自然災害からの復興は、これからも重要な課題だと考えているところです。今後、固い決意をもって観光の振興に取り組むべきであると考えております。</p> <p>年初めでもありますので、観光振興監に希望をもって、羽衣の滝の復興に向けて、また、道内の自然環境と共生する観光資源のこれからの将来を見据えた希望ある答弁を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>(観光振興監)</p> <p>今後の振興策についてでございますが、本道の雄大で四季折々の変化に富んだ自然環境は、国内外からの観光客を引きつける大きな魅力であり、かけがえのない自然環境を適切に保全しながら、安全、安心に滞在できる受入環境を整えることがなによりも重要と認識しております。</p> <p>こうした中、「日本の滝百選」にもなっております「羽衣の滝」が、遊歩道の復旧により、安全性を確保しながら、再び、多くの観光客の皆様を訪れていただけるようになりますことは、天人峡のみならず、周辺の市町村も含めた広域観光にとっても大きな効果をもたらすことが期待されるところでございます。</p> <p>道といたしましては、今後、大雪カムイミンタラDMOや、地域の観光団体などと連携を密にいたしまして、さまざまな観光イベントや商談会などを通じた情報発信や、自然とのふれあいを楽しめる受入環境づくり、さらには、天人峡を含めた広域観光周遊ルートの取組を支援するなど、自然と共存する質の高い魅力ある観光地づくりを進めてまいります。</p>